

⑤3 官民連携による水上オートバイの安全対策

受賞機関 兵庫県

キーワード 水上オートバイの適正な利用、水難事故等の防止に関する条例、県下統一の自主ルール、官民連携で合同パトロール

全建賞審査委員会の評価ポイント

官民連携による水上オートバイの安全対策の取組。死亡事故の発生という深刻な社会問題の解決という目的を共有する仕組みづくりに成功し、官民が連携しながら、安全対策を実施しているとともに、それぞれが分担する分野で全国に先駆けた取組に挑戦して短期間に事故ゼロの目的を達成できた点が評価された。

1. はじめに

兵庫県下で令和3年夏に発生した水上オートバイによる死亡事故・危険行為は、マスコミにも大きく報道される社会問題となった。

兵庫の海で、誰もが快適で安全に楽しめるよう、官民連携で死亡事故や危険行為の防止のための安全対策、ルールを守る優良ユーザーの拡大に向けた周知啓発に取り組んでいる。

2. 事業の概要

国（海上保安本部、神戸運輸監理部）、県（警察本部、知事部局）、市町、水上オートバイに関する各種民間団体、漁協など官民連携で安全対策や啓発活動を検討・立案し、下記取組を推進した。

1) 条例改正（全国最厳）

危険行為や酒酔い操縦には罰金に加えて3ヶ月以下の懲役刑を設定するなど、都道府県レベルでは最も厳しい罰則となる「水難事故等の防止に関する条例」を令和4年7月に改正した。

2) 県自主ルール策定（全国初）

「遊泳者等から概ね100m以上離れて航行」、「飲酒操縦禁止」、「迷惑行為禁止」を内容とする、県下統一の自主ルールを令和4年7月に策定した。

3) 合同パトロール

条例改正や県自主ルールの周知・啓発を図るため、官民連携で合同パトロールを実施した。



神戸市須磨海岸合同パトロール（知事参加）

4) 啓発看板

県管理の港湾や海岸等に、安全対策に係る啓発看板を新たに13箇所設置した。

5) 安全宣言ショップ（全国初）

指導や啓発に積極的に取り組む民間団体を支援する「安全宣言ショップ」制度を創設し、県下12事業者が啓発活動を展開した。



啓発看板



安全宣言ショップが指導啓発したユーザーに配付するリストバンド

3. 事業の成果

国、県、市町、民間団体等が連携して、安全対策や様々な啓発活動に鋭意取り組んだ結果、令和4年シーズンは水上オートバイに関する「事故ゼロ」を達成した。

4. おわりに

水上オートバイの適正な利用に向け、法律や条例による規制に加え、各ユーザーに対して守るべきルールやマナーの更なる浸透を図っていく必要がある。

マリレジャーが本格化するシーズンを迎え、遊泳者や海岸利用者など、全ての方々が兵庫の海で快適で安全に楽しめるよう、引き続き官民連携の取組を推進していく。

水上オートバイを楽しむために
押さえておきたいこと。

Laws 条例改正
Rules 県自主ルール
Manners マナー

Laws 条例改正 R4.7.1施行

- 危険行為に対する罰則の強化
- 飲酒操縦等に対する罰則の新設
- 飲酒操縦に関する規定・罰則の新設

Rules 県自主ルール

- 遊泳者等から概ね100m以上離れて航行
- 飲酒操縦の禁止
- 港湾・海岸等での迷惑行為の禁止

Manners マナー

条例改正・自主ルール等の周知啓発リーフレット